

伊万里市制施行55周年記念事業

うちどく
第1回 家読サミット
in 伊万里

～読書で輝くまちづくり～

プログラム



平成21年10月31日(土) 8:50～12:30

伊万里市民センター 文化ホール、ホワイエ

主催:伊万里市、伊万里市教育委員会

共催:茨城県大子町、青森県板柳町

協賛:伊万里ライオンズクラブ

**後援:佐賀県教育委員会、伊万里市小中学校連合PTA、
(社)日本図書館協会、(社)全国学校図書館協議会、
佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、STSサガテレビ**

文部科学省委託:伊万里市「子ども読書の街」づくり推進事業

8:50

オープニングセレモニー

◆伊万里市立黒川小学校 家読の歌合唱

「こころつないで ～read and talk～」

9:00

開会式

◆主催者あいさつ

伊万里市長 塚部 芳和

◆来賓祝辞

佐賀県教育委員会副教育長 志岐 宣幸

9:15

基調講演

「幼き日の読み聞かせが人生を決める」

講師／柳田 邦男（ノンフィクション作家）

10:20

家読事例発表

・伊万里市立黒川幼稚園

（園長）西 エイ子

（保護者）山崎 祐子 他

・伊万里市立黒川小学校

（校長）山下 定則

（保護者）中島 耕一、前田 祐子

助言者／佐川 二亮（家読推進プロジェクト代表）

10:55

シンポジウム

テーマ「読書で輝くまちづくりをめざして」

シンポジスト／大子町長 綿引 久男

板柳町長 館岡 一郎

伊万里市長 塚部 芳和

アドバイザー／柳田 邦男

コーディネーター／富吉 賢太郎（佐賀新聞社論説委員長）

12:15

家読サミット共同宣言

12:25

閉会あいさつ

伊万里市教育委員会教育長 岩永 憲一良

茨城県 だいごまち 大子町

人口 21,088人 世帯数 7,787世帯
(平成21年9月1日現在)

◎町の紹介

大子町は、昭和30年3月31日に1町8か村が合併して誕生しました。

茨城県の北西端に位置し、北は福島県、西は栃木県、東は茨城県常陸太田市、南は茨城県常陸大宮市にそれぞれ堺を接しています。町の中心部を久慈川が流れ、その支流である滝川の上流には、日本三大名瀑として名高い袋田の滝(四度の滝)があり、四季折々に美しい景観を作り出しており、山・川・滝・温泉のある奥久慈県立自然公園にも指定されている風光明媚な景観地です。

農林業は町の基幹産業で、主な特産物は、米(お米日本一コンテストで最優秀賞受賞)、こんにゃく、りんご、茶、しゃもです。

◎家読の取り組みに至った経緯・目的

平成18年12月に、町内小学校児童の読書に関する話し合いの中で、家庭での読書、特に家族を含めた読書の重要性が話題となりました。

平成19年2月に、親子のコミュニケーションを深めるため、家庭における読書活動は極めて有効な方策のひとつとの観点から、「家読」を教育活動の一環として位置づけることとし、町内小中学校から実験的に推進校を設定していくことを決定しました。

平成19年度から毎年、小学校1校、中学校1校を「家読推進校」に指定し、重点的に取り組むこととするとともに、全小中学校で取り組んでいます。また、平成19年6月に、町議会において「読書のまち」宣言を可決しました。

青森県 いたやなぎまち 板柳町

人口 15,643人 世帯数 5,383世帯
(平成21年9月1日現在)

◎町の紹介

板柳町は青森県の西部津軽地区の中央に位置し、四季の変化に富む典型的な日本海型の気候を有しています。

総面積41.81平方キロメートルのほとんどが平坦地で、西は岩木山、東は十川の間であり、それら水系の分厚く発達した沖積世の堆積物は、りんご園・水田としての利用に適した生産性の高い豊かな平野を形成しています。

青森県のりんごの歴史は、明治8年に時の内務省からアメリカ産の苗木3本が配布されたことから始まり、翌年には当板柳町でも試験栽培され、明治30年代にかけて栽培者が増え続け、今日のりんご産業の隆盛をもたらす基礎となりました。今では、「りんごの里いたやなぎ」として「日本一のりんごの里づくり」を目標に更なる躍進を目指しています。

◎家読の取り組みに至った経緯・目的

現在、子どもたちの心が不安定になりつつある大きな原因の一つに、読書離れがあると考え、豊かな心や忍耐力を育ててくれる読書の素晴らしさを伝えていくため、平成18年3月に「板柳町子ども読書活動推進計画」を制定し、全小中学校で朝の読書を実施することにしました。

また、平成19年8月には「ノーテレビ・ノーゲームデー(毎月30日)」の制定、町民図書館における「家読コーナー」の新設など、家読推進へのスタートを切りました。

翌平成20年5月には「読書のまち」を宣言し、「まちかど文庫」の設置、「ブックスタート」の実施など、より一層読書に親しめる取り組みを行っています。

佐賀県 伊万里市

人口 58,251 人 世帯数 21,902 世帯
(平成 21 年 9 月 1 日現在)

◎市の紹介

伊万里市は、北部九州の西部に位置し、天然の良港伊万里湾を抱く面積 254.99 平方キロメートルの市域を有しています。

古くは「古伊万里」の積出港として、また、石炭産業全盛期は石炭の積出港として栄え、近年では伊万里湾総合開発を軸に大規模な臨海工業団地を造成し、造船、I C 関連産業、木材関連産業等の集積により近代的な工業港として発展しています。伊万里市では、ゆとりある快適な都市環境、健やかで温かみのある地域社会、教育文化機能の充実などによって「交流と創造の市民都市」の創造に努めています。また、「古伊万里文化」の香りが漂う焼き物などを市内の随所で見ることができ、四季折々に往時の面影がしのべれます。

◎家読の取り組みに至った経緯・目的

平成 18 年に「いじめなし都市宣言」を行い、「思いやりの心あふれるまちづくり」をすすめています。その実現のためには、子どもたちの心の居場所としての家庭の存在が不可欠です。しかし、昨今家庭での親子の会話の減少が指摘されていることから、平成 19 年度より「親子の心をつなぐ『家読』のすすめ」を展開しています。当初はモデル地区を指定して取り組んでいましたが、今年度からは全市での取り組みを始めています。

家読は保護者がその目的を理解し、子どもと一緒に同じ時間や空間を共有することが大切なため、「家読のすすめ」のチラシを配布したり、地区別の「家読集会」等で目的やねらい等の説明を行っています。

♪♪♪なごむ ♪ read and talk ♪

中島 進 / 作詞 羽柴良重 / 作曲

1

おなあちゃん の ひろのいせ 絵本のなごむ read and talk
おふじやんが 読まじふる 本をうかば read and talk
なごみのなごむが ♪♪♪なごむ
おふのまわらじ かなの笑顔 read
read and talk 聴き語り ♪♪♪
♪♪♪なごむ read and talk

2

おなあちゃん の しわつわの手 めぐもる感じ read and talk
おじつちゃん が 教えしわた おなごむが read and talk
なごみのなごむが ♪♪♪なごむ
おふのまわらじ みんなの笑顔 read
read and talk 聴き語り ♪♪♪
♪♪♪なごむ read and talk

3

ほぐが生まれた ふるむは スキななだね read and talk
海の向こう どんな国も こと知りた read and talk
なごみのなごむが 世界をこなむ
地球(おつ)のまわらじ かがやく笑顔 read
read and talk 未来(あす)を語り ♪♪♪
♪♪♪なごむ read and talk

なごみのなごむが じぶらをひらひ

君のまわりを あふれる笑顔 read

read and talk 聴き語り ♪♪♪

♪♪♪なごむ read and talk

「第1回家読サミットin伊万里」共同宣言

このたび、自治体をあげて「家読」に取り組んでいる茨城県大子町、青森県板柳町、佐賀県伊万里市の3首長が、伊万里市に集い「第1回家読サミットin伊万里」を開催いたしました。

子ども時代の読書は生涯学習のスタートであり、多くの知恵を養うとともに、豊かな想像力や感性を育みます。また、子どもは、家庭内に醸成された気風を呼吸しながら成長します。したがって、子どもに必要なのは、家族の愛情と心のつながりです。

「家読」こそは、それを実践するための大切な方法のひとつであると考えます。また、本を読むことによって習得する言語能力と知的働きは、やがて地域のまちづくりや、国の発展にもつながるものと確信いたします。

「第1回家読サミットin伊万里」に参加した自治体が、さらに連携を密にし、交流を深めていくことによって、「家読」が全国の自治体へと広がっていくよう一層努力をすることを決意し、次のとおり宣言いたします。

1. 子どもが本を読むことを通して、心の中に想像の翼や知的エネルギーを蓄え、未来へ向かって羽ばたくことができるよう支援します。
2. 家族がみんなで本に親しみ、語り合い、コミュニケーションの輪を広げることによって、親子の絆が深まっていくよう努めます。
3. 子どもの身近に本のある環境を整えるよう、公共図書館、学校図書館、幼稚園、保育園等の図書の実充に、自治体をあげて取り組みます。

平成21年10月31日

茨城県大子町長

綿 引 久 男

青森県板柳町長

館 岡 一 郎

佐賀県伊万里市長

塚 部 芳 和